

小岳山頂

小岳山頂は白神山地の手つかずの自然に囲まれている。日本の多くの地域とは異なり、人工のものが一切なく、道路すらもないため、ブナの原生林や周囲の山々の景色を遮るものがない。この地域のいくつかの大きな山が見える。それらは、西に二ツ森山（1,086 m）、北西に白神岳（1,232 m）、南東に藤里駒ヶ岳（1,158 m）、さらに遠くの北東に見える岩木山（1,625 m）である。

山頂には、ハイマツの低木群がある。通常、この丈夫な高山帯の針葉樹は、高度 2,000 メートル以上でのみ見られ、小岳山（1,042m）に植生している木々は、日本の最低標高のハイマツ群落である。イワナシとイワカガミもここで生長し、春と夏にはピンク色の花が山の斜面に点を描く。